科目名	舞台総合実習							年度	2025
英語科目名	Stage Overall Training							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科　１年次	必／選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習+実技
担当教員	室生春、磯辺万沙子	教員の実務経験		有	実務経験の職種	俳優			

【科目の目的】

前期後期で学んだ演技の基礎を基に、ゼミ全員が心を一つにして作品を作り上げ、それを舞台で発表することを前提とする。キャスティングに基づき各自役作りすると共に、衣裳、小道具、演出助手等、舞台作りに必要な役割も分担して行う。最終的に観客に作品を発表し評価を得ることで、達成感や満足感を得、それと同時に、これからの自分の課題などを発見する。

【科目の概要】

１年次の集大成として修了公演を行う。

【到達目標】

声優・演劇科の基礎授業の中で、まず、役者の仕事に耐えられる社会性を持つこと。タフな精神と肉体、そして開いた心で誰からも愛される役者となること。コミュニケーション能力と礼儀正しい人物であること、実力を兼ね備える役者となること。一つの演劇作品を通して、自己を見つめ、自己を発見し、自己を鍛えることが最大の目的であるため、その目的に一歩でも近づくことを到達目標とする。

【授業の注意点】

最終的に舞台発表を目指すものであるから、その為に必要なことを各自が責任を持って実行することが求められる。キャスティングされた役に全力で取り組み、協力、協調すること。役割分担の仕事も責任をもってやり遂げる。舞台発表において最も重要なのは、体調の自己管理である。取り組み方に熱意や誠意が感じられない者はキャスティングの変更、降板もあり得る。授業時数4分の3以上出席しない者は定期試験を受験不可とする。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	腹式呼吸が完璧にできており、長い台詞・短い台詞を正しい発声法とブレスポイントを駆使することができる。	概ね腹式呼吸ができているが、息の量が少なくなった時に咽頭への力みが生じる発声をしている。	腹式呼吸を理論的に理解しているが、訓練不足により結果が出ていない。	腹式呼吸を理論的に理解できず、訓練方法の意図も理解できていない。	腹式呼吸やその訓練の重要性を理解せず、授業内において出席意欲を感じられない。
到達目標 B	初見の課題において、母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を的確に区別し、台詞として表現することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を自力で区別することができ、実践することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができるが、自力で区別することができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができず、区別していうことができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解しようとせず、授業内において出席意欲が感じられない。
到達目標 C	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品について語ることができる。	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品のテーマを理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解しようとする意欲は見える。	戯曲を読解しようとする意欲がない。
到達目標 D	自分の役割を理解し、自己都合を一切感じさせず他者の感情に訴えかける表現を行うことができる。	自分の役を理解し、他者の感情を考慮しながら“役としての”コミュニケーションを図ることができる	自分の役を理解し、他者の感情を考慮し用としているが“役としての”コミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解できず、他者と目を合わせてコミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解しようとせず、他者とコミュニケーションを図ろうとしない。
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い

【教科書】

修了発表用台本。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

NHK日本語発音アクセント辞典

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	舞台総合実習	年度	2025
英語表記	Stage Overall Training	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	本読み	1,音圧と滑舌 2,台本を読む力、読解力 3,イマジネーションを広げる 4,日常的なシーンから自然な演技力	1	音読	しっかり声に出して本読みをする	2	
			2	句読点	自分のブレスポイントを確立する		
			3	フレージング	発想を発声する		
2	立ち稽古		1	交流	相手をしっかり意識する		
			2	動線	動き方を毎回変えず確立する		
			3	作品	作品の世界観をしっかりと意識する		
3	立ち稽古		1	交流	相手をしっかり意識する		
			2	動線	動き方を毎回変えず確立する		
			3	作品	作品の世界観をしっかりと意識する		
4	立ち稽古		1	交流	相手をしっかり意識する		
			2	動線	動き方を毎回変えず確立する		
			3	作品	作品の世界観をしっかりと意識する		
5	立ち稽古		1	交流	相手をしっかり意識する		
			2	動線	動き方を毎回変えず確立する		
			3	作品	作品の世界観をしっかりと意識する		
6	立ち稽古		1	交流	相手をしっかり意識する		
			2	動線	動き方を毎回変えず確立する		
			3	作品	作品の世界観をしっかりと意識する		
7	立ち稽古		1	交流	相手をしっかり意識する		
			2	動線	動き方を毎回変えず確立する		
			3	作品	作品の世界観をしっかりと意識する		
8	立ち稽古		1	交流	相手をしっかり意識する		
			2	動線	動き方を毎回変えず確立する		
			3	作品	作品の世界観をしっかりと意識する		
9	立ち稽古		1	交流	相手をしっかり意識する		
			2	動線	動き方を毎回変えず確立する		
			3	作品	作品の世界観をしっかりと意識する		
10	通し稽古		1	交流	相手をしっかり意識する		
			2	動線	動き方を毎回変えず確立する		
			3	作品	作品の世界観をしっかりと意識する		
11	仕込み、場当たり		1	交流	相手をしっかり意識する		
			2	動線	動き方を毎回変えず確立する		
			3	作品	作品の世界観をしっかりと意識する		
12	ゲネプロ		1	生きる	役として演じる		
13	本番						
14	本番						
15	反省会	1年の総まとめ	1	まとめ	映像を見て自分の演技と向き合う	3	
					同枠の相手の演技を学ぶ		
					一年の反省点をレポートにまとめる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等